

感染症情報 12月24日～1月6日

12月24日から12月30日分

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1403例	(堺市 102例)
②溶連菌感染症	388例	(堺市 46例)
③咽頭結膜熱	166例	(堺市 6例)
④RSウイルス感染症	140例	(堺市 8例)
⑤みずぼうそう	99例	(堺市 7例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3337例(堺市 321例)

12月31日から1月6日分

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	500例	(堺市 17例)
②溶連菌感染症	131例	(堺市 11例)
③RSウイルス感染症	79例	(堺市 1例)
④みずぼうそう	74例	(堺市 2例)
⑤咽頭結膜熱	38例	(堺市 3例)

府下インフルエンザ定点302医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 4422例(堺市 310例)

が報告された。年末年始であり、特に12月31日から1月6日の週は単純比較できない。

感染症報告数は12月24日から30日までがその前週より24%減の2,454件で、12月31日から1月6日までが910件であった。

インフルエンザは府下では12月24日から30日までがその前週より19%増の3,337例で報告され(堺市では217→321例の48%増)、12月31日から1月6日までがさらに33%増の4,422例であった(堺市で321→310例、3%減)。12月31日から1月6日の週の定点あたりの報告数は14.6で、注意報レベルの基準である10.00を上回っている。今後急増が予想される。

12月31日～1月6日の週に麻疹3例、風疹2例の報告があった。